

## あいち障害者センターNEWS(号外)

2026年3月

(講師派遣・研修版)

発行:NPO あいち障害者センター

センター「繋ぐ」講座第3回～家族として(2026年2月1日)報告

### 18歳のその先を見通して

第1回では小学生と中学生では放課後生活への子どもの思いが変化することを、第2回では教育の場と成人事業所の情報共有の在り方に課題があることを学び合い交流しました。こうした現状を踏まえつつ、第3回は、子どもの年齢ごとの節目を親はどうに位置付け子どもと向き合ってきたのか、向き合っているのかを、成人した3人の子の母親である浅野さんと、特別支援学校中学部2年生の父親である平松さんに語っていただきました。

33歳を頭に32歳、29歳の3人の障害のある子どもを育ててきた浅野さん。仮死出産だった長女が5ヶ月でてんかん発作を起こした後、定期通院していた小児科医からも保健師からも療育に関しての情報が得られなかったのだとか。児相に繋がり通園療育を受け、やっと保護者仲間や専門家に会え、その後は積極的に学習会に参加し必要な情報を得るだけでなく常に情報を更新し行政にも声を出してこられました。乳幼児期は、医療機関、保健センターそして児童福祉機関の連携に課題があること、まだ放課後支援施策が無かった学童期は学童保育に10年間関わり続け、支援費制度以降は新たな支援施策を率先して利用し、「よかネットあいち」の代表として問題点の改善に向けて役所への申し入れも行ってこられました。わが子の支援については「担当者会議」を定期開催し本人に「どうしたい」と意思確認もし、本人が自分で決められるように取り組んでこられました。高学年以降の男子の生活技術支援は父親に任せ、現在、長女は3か所目のグループホームを利用中。長男と次男はグループホームのお試し利用をしつつも、利用できるグループホームの空きがなく「暮らしの場」について声を出しているとのこと。声を挙げ続ける浅野さん、スゴイ！

平松さんは息子さんが生まれてから現在までの子どもの姿と親としての思いを語ってくれました。保育園で遅れを指摘され揺れていた時期、療育センターで障害の診断を受け手帳交付を受け覚悟が決まったこと、小学校入学前から保育園降園後に放課後デイを利用して、特別支援学級入学後も継続利用しているため子どもにとっては安心できたと思われること、5年生のキャンプに向けて父として入浴支援に取り組んだこと、中学進学時に進路に関して夫婦で意見が食い違い、中学校特別支援学級と特別支援学校中学部の両方を見学し本人の姿で現在の選択をしたことです。制度がそれなりにできていて利用してきたこと、相談支援も活用しショートステイや卒業後に向けた実習も体験中のことでした。

お二人とも、集団生活の中で仲間の支えで新たなチャレンジが始まることも指摘されましたが、児童福祉施策で保障されていた余暇支援や学習活動が成人施策では保障されないことが問題だということが出されました。参加者からは入所型施設の入所児の場合自宅への一時帰宅時に受けられる支援がないことも指摘されました。情報が必要な人に届いていないこと、人生には結婚や子育てのドラマも親の病気や死もあるけれど、そうしたことも見通した生活支援や教育の課題も深める必要があるとのご意見があり、次年度に引き続き「繋ぐ」講座で意見交流が必要だということになりました。乞うご期待

(文責:コーディネーター 近藤直子)

## センター講座

### 2026年3月 あいち障害者センター講座

政府は、2024年度に訪問介護の基本報酬を引き下げた結果、全国の介護事業所の休廃止が急増する中で介護団体からは介護報酬の期中改定や職員の処遇改善を求める声が強まる中で政府は2025年12月24日、介護報酬を2.03%、障害福祉サービスも1.84%引き上げる2026年度臨時報酬改定を決めました。

今回の報酬改定をめぐっては、障害保健福祉部から出した障害福祉サービス等報酬改定検討チーム12月11日・16日の「令和6年度報酬改定後の状況を踏まえた課題」、1月22日の「令和8年度における臨時応急的な見直し案」。今後どうなるでしょうか？

## 2026年度 障害福祉サービス等 報酬改定は？

2026年3月14日(土)

参加費：3000円

13:00～

レジメと資料を紙版で希望  
の方は別途1000円

障害福祉サービス等報酬改定検討チーム  
議論されたものとは…

●講 師

田村和宏 立命館大学産業社会学部教授  
人間発達研究所運営委員長

会場：  
あいち障害者センター2F  
研修室

オンライン併用

会場参加は20名  
(定員になり次第締め切り)

申込締切／2026年  
3月1日(日)厳守

協賛  
きょうされん愛知支部  
全障研愛知支部  
愛障協  
全国福祉保育労東海地本

#### 主催 NPO あいち障害者センター

問合せ・申込先〒456-0031 名古屋市熱田区神宮2-3-4 もやいビル  
電話 052-682-7911 FAX 052-682-7916  
メール [asc732@spa.nifty.com](mailto:asc732@spa.nifty.com)(講座受付用)



**2026年3月あいち障害者センター講座(2026年3月14日開催)  
お申込みは**

**FAX 発信先 052-682-7916**

**メール asc732@spa.nifty.com(講座受付用)**

お申込み用紙にご記入の上、FAXまたはEメールにてお送りください。

■参加費：3000円

レジメと資料を紙版で希望の方は別途 1000円

郵送希望の方は、別途送料 400円

- 以下の口座に3月1日までに入金をお願いします。
- 送金手数料はご負担をお願いします。
- ご欠席時の払戻しは致しませんのでご了承ください

振込先：銀行口座：ゆうちょ銀行（9900）〇八九店（089）当座 0078563

払取扱票：00810-0-78563 ※払取扱票用紙をご希望の方は連絡ください。

加入者名：特定非営利活動法人 あいち障害者センター

※参加費を事前納入していただいた方に資料・URL を送信します。

---

**主催 NPO あいち障害者センター**

問合せ・申込先〒456-0031 名古屋市熱田区神宮 2-3-4 もやいビル

電話 052-682-7911 FAX 052-682-7916

メール asc732@spa.nifty.com (講座受付用)

---

----- 申込み用紙 -----

申込日 月 日

■所属 ①あいち障害者センター会員・賛助会員 ②きょうされん加盟事業所職員

③全障研会員 ④愛障協加盟団体の会員・賛助会員 ⑤福保労の組合員  
〇で囲んでください。複数にまたがっても構いません。

■参加方法 ①会場 ②オンライン

※会場定員が20名のため、どちらの参加か選んでください。

■お名前（ふりがな）

■メールアドレス

※レジメ・資料は添付にてお送りします。添付文書が受けとれるメールアドレスをお知らせください。

■住所 〒 一

■連絡できる電話番号（携帯電話）

■いすれかに〇印 ①データーで希望 (3000円)

②レジメ・資料を紙版で希望 +1000円 (4000円)

③紙版を郵送希望 +400円 (4400円)

## 者センターの事業紹介



# 「学び」を職員みなさんの共有の財産にするために、 あなたの事業所に伺います。

一緒に学びの場を作っていきませんか。

障害のある人や家族とともに一歩でも前に歩める、障害者・障害児の日中活動や暮らしの場における支援の在り方や職員の力量のアップが求められています。

正規職員さんも非常勤職員さんも、関わるご家族も、学生さんも、ともに学習することで、「学び」を共有しませんか。

※あなたの事業所の学習の場をお手伝いします。

※講師派遣（講演）は、ご希望の内容をふまえ、講演内容を相談いたします。

※センターにご協力いただいている多彩な方々が、成年後見、親の立場、当事者として、得意分野を語ります。

## センターの応援団になってください。

■贊助会費：(法人・事業所・団体) 年間 1 口 10000 円

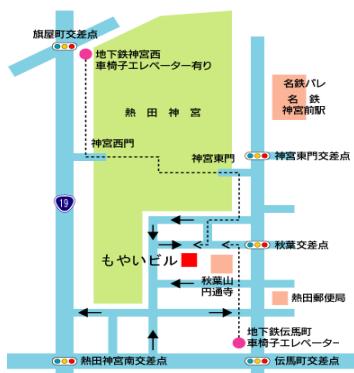
■贊助会費：(個人) 年間 1 口 2000 円

※センター講座は、贊助会員割引があります。



※センターエレベーター修繕募金にご協力ください。

①郵便振替(払込取扱票) 00810-7-78563  
②ゆうちょ銀行 ○八九店(089) 当座 0078563  
特定非営利活動法人 あいち障害者センター



地下鉄名城線「熱田神宮伝馬町」徒歩 7 分

名鉄本線「神宮前」徒歩 7 分

市バス「神宮東門」徒歩 7 分

※駐車場はありません。近隣のコインパークをご利用ください。

## NPO あいち障害者センター

住所：名古屋市熱田区神宮 2-3-4 もやいビル

電話：052-682-7911 FAX : 052-682-7916

メール：asc732@spa.nifty.com (講師派遣・研修用)

学習したあとは熱田神宮へ散策！

ホームページ：<http://www.npo-asc.jp/>